

(7) 晩秋・来年に向けた茶樹の手入れ

<p>○ススキと茶畑 ○牧之原台地の茶園の たたずまい</p> <p>○お茶の花 ○相模灘から ZB 台地上に茶畑が広がる</p> <p>○赤堀さんの畑で 嗣人さんが乗用で作業</p> <p>○広い畑で作業する様子</p> <p>○刈られてゆく茶樹アップ</p> <p>○できている新芽をアップで</p> <p>○赤堀さんと奥さんが 二人で刈ってゆく</p> <p>○嗣人さんが刈ってゆく</p> <p>○お二人の姿</p> <p>○赤堀さん</p> <p>○刈る機械の UP</p> <p>○二人で作業する</p> <p>○広い畑で働く三人</p>	<p>化粧ならし</p> <p>10月末</p>	<p>10月末の牧之原台地――。</p> <p>お茶の花…、かわいいお花です。ね。 お茶は、秋の収穫が終わると成長を止め、次の年に むけてゆつくりと栄養分を蓄えます。</p> <p>ばらばらに伸びている葉や茎をきれいに刈り取って、 春の一番茶の中に、古い葉や茎が混じるのを防ぐ 「化粧ならし」と云う作業が行われています。</p> <p>赤堀さん『この時期、来年の一番茶の芽というのは、 1ミリ・2ミリで、もう作られています。 ですからその芽を採らないように、細心の注意 を払って作業してる訳です。 丁寧にやることと、来年の期待を込めることと、 2つの気持ちがあります。』</p> <p>赤堀さん『お茶というのは、私の最愛のものですね。 4月・5月になれば成長して見事な緑色に なっていくという、ただ一年に一回のその 楽しみを待ちわびるといふ想いで私たち家族で 一生懸命やっています。』</p>
---	--------------------------	--

(8) 新春・新たな願い

○駿河湾に初日が昇る

(元旦)

○初日の出を見守る人々

・お祓い

・写真を撮る

・海岸の子供たち

○正月飾りの赤堀家

○家を出るご夫婦

○神社へやって来る二人

○神社へと入ってゆく

○お参りする二人

○地域の方々もお参り

○正月の朝日に照らされた茶畑を見ているご夫婦

○茶畑で話す

赤堀さん

○茶畑の様子を見せて

○話す赤堀さん

○茶畑の二人

一幡神社

新しい年を迎え、赤堀さんご夫婦は近くの神社にお参りして、今年も良いお茶が出来るようにと祈ります。

初まいるのあと、新春の茶畑に立ち寄ります。

赤堀さん『この畑はね、エー作り直してから今年で4年目です。今までずっとエー育ててきて、今年初めて収穫するということで、大変にもう期待をしています。
冬が寒ければ寒いほど、茶の樹に栄養がたっぷり溜まって、一番茶にはその栄養が全部新しい芽に出てきますのでね、すごい期待ですよ。』